

阿蘇海環境づくり協働会議 令和6年度の取組

1 意識醸成の取組

●「阿蘇海の日」事業（市、町）

「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来につなげる条例」に基づき、毎年「阿蘇海の日」を定め、両市町が共同で啓発活動等の取組を実施。

| 実施日 | 実施概要 |
|--------------|---|
| 令和6年7月14日（日） | 阿蘇海フェスタの開催 （会場：阿蘇シーサイドパーク） ※詳細は次頁参照 |

※阿蘇海の日：令和6年7月15日（月）



阿蘇海環境づくり協働会議賞

●環境ポスター掲示による啓発活動（市、町）

地域の小学生を対象に実施。入賞作品をパネルやポスターにして、地域内で掲出するなど意識啓発も実施

| 実施内容 | |
|---------------------|---------|
| 与謝野町環境改善啓発ポスターコンクール | 応募：135点 |
| 環境改善啓発ポスターパネル製作 | 製作：8点 |



宮津市ポスターパネル（須津）

※与謝野町ポスターコンクールについては
令和3年度より協働会議賞を新たに追加

●野田川及び阿蘇海についての環境啓発出前授業の実施（町）

| 実施内容 | 実施日時 |
|----------------------------|-----------|
| 阿蘇海の現状と環境を守る取り組みについて（岩滝小） | 令和6年6月12日 |
| 阿蘇海の現状と環境を守る取り組みについて（加悦小） | 令和6年6月18日 |
| 阿蘇海に飛来する鳥や生物について（エコキッズ） | 令和6年6月29日 |
| 環境を守る取り組みについて（石川小） | 令和6年7月8日 |
| 環境を守る取組と 米作りについて知ろう！（三河内小） | 令和6年9月3日 |
| 阿蘇海環境学習会（橋立中） | 令和6年9月18日 |

●阿蘇海についての環境啓発出前授業の実施（市・町）

| 実施内容 | 実施日時 |
|---|----------|
| 阿蘇海フェスタ 生き物調査運営に向けた事前学習会（宮津 天橋高校宮津学舎 フィールド探究部） | 令和6年7月4日 |

阿蘇海フェスタの取組報告（与謝野町）

● 阿蘇海の日事業

「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来につなげる条例」に基づき、阿蘇海水域とその周辺環境の保全に取り組み、美しく豊かな阿蘇海を実現することとしており、1年のうち首長が定める日を「阿蘇海の日」と位置づけ、両市町が共同で取り組みを行うこととしている。

| 当番 | 阿蘇海の日 | 実施日 | 備考 |
|------|----------------|-------------------|------------|
| 与謝野町 | 7月15日 (海の日) | 7月14日 (阿蘇海の前日) | 阿蘇海フェスタの開催 |

● 阿蘇海フェスタの開催について

「阿蘇海の日事業」の取組として、イベントを開催

実施日：令和6年7月14日（日） 午前の部 午前6時～11時

午後の部 午後1時～3時15分

場所：阿蘇シーサイドパーク・生涯学習センター知遊館

内容：①午前の部

- 熱気球搭乗体験
- e-bike 阿蘇海一周フォトラリー
- ちょこボラ&健康ウォーキング
- 阿蘇海・野田川生き物講座 など

②午後の部

- 環境映画会「ヴェンデ2」上映会

その他

熱気球搭乗体験は事前申し込み150人、当日申し込み50人合計200人を6時から9時までの時間を6回に分け実施したが、全ての回で定数を満たす参加者数であり、とても人気が高かった。

上空から阿蘇海を望みその色や美しさを目の当たりに自分には何が出来るかを感じる機会となった。

ちょこっとボランティア&健康ウォーキングでは与謝野町オリジナル体操“ひまわり体操”をしたのち、歩く姿勢に留意しながら、ゴミ拾いをテーマにスポーツ推進委員と理学療法士からウォーキング姿勢を学び、よさの百年の暮らし委員会指導の下、海岸清掃を実施し約15kgのごみを回収した。

阿蘇海、野田川の生き物講座では宮津天橋高校フィールド探究部の生徒を講師に、付近で生息する生き物や不法投棄ごみの現状、その流域を含む周辺環境を保全する取組を紹介した。

e-bikeによる阿蘇海周遊フォトラリーは環境にやさしいe-bikeに搭乗し阿蘇海1周約15kmを小雨の降る中、参加者は阿蘇海の魅力を感じ楽しむことができた。



また、午後からは名古屋大学 特任教授杉山範子氏（世界気候エネルギー首長誓約日本事務局長）をお招きし、環境ドキュメンタリー映画「ヴェンデ2」の上映会を実施した。

2 流入負荷の削減に向けた取組

●下水道事業、浄化槽設置補助（市、町）

| 市町 | 実施内容 | R5実績 |
|------|------------------|--------------------------------|
| 宮津市 | ・高齢者世帯排水設備整備費補助 | 0件 0円 |
| | ・浄化槽設置費補助 | 0件 0円 |
| | ・浄化槽維持管理費補助 | 【R5】 3件 60,000円 ※吉津及び府中地区のみ |
| 与謝野町 | ・浄化槽設置整備事業補助 | 5件 3,260千円 |
| | ・水洗便所改造等奨励制度 | 4件 120千円 |
| | ・融資あっせん制度及び利子補給金 | なし |
| | ・浄化槽維持管理費補助 | (見込) 92件 2,400千円 |

※浄化槽維持管理費補助のR5実績は未確定のためR4実績を記載

《水洗化率》

| | |
|------------|----------------------|
| 吉津 | R5: 88.2%(R4: 87.2%) |
| 府中(江尻地区除く) | R5: 59.5%(R4: 55.1%) |
| 与謝野町全体 | R5: 81.5%(R4: 80.5%) |

●天ぷら油の回収（市町等）

流入負荷軽減の取組として、NPO法人に協力し、市町庁舎のほか、公民館、観光施設、保育所などに回収ボックスを設置。

回収された油から、BDF燃料（バイオディーゼル燃料。植物油（使用済み天ぷら油等）から作られる軽油の代替燃料。）を町内NPO団体が精製している。

●浅水代かきの推進（町）

田んぼから栄養を多く含む水が流れないようにする農法である「浅水代かき」を推進。

●自然循環農業（京の豆っこ肥料）の推進（町）

豆腐工場からでたおからを使った「京の豆っこ肥料」を推進し、化学肥料から有機質肥料に転換することで、与謝野町ブランドを確立するとともに、阿蘇海等環境に優しい農業の促進を図る。

●プラスチック被覆肥料の代替肥料の促進（府）

水稻栽培において、広く使用されている基肥一発肥料においては、マイクロプラスチック殻が土中で分解されず、河川や海洋に流出する懸念があるため、代替肥料として自然界にある硫黄で被覆した肥料を使用する実証を実施。

●森林保全・里山整備の取組（森林組合）

阿蘇海周辺の森林整備を進めることにより、阿蘇海上流域である野田川流域の環境改善の取組を推進。

●森林保全・里山整備の取組（市、町）

市町村森林整備計画の策定と適切な森林整備の実行監理

●野田川及び他支流河川の水質調査とその公表（町）

町の水質環境を維持、改善していくため町内14か所で河川の水質調査を行い、町HPや広

報誌において各河川等の水質数値の現状を公表。阿蘇海の水質浄化の取組みとしている。

3 悪臭・景観対策の取組

●海岸清掃活動（行政・地域団体等が協働実施）

<宮津市府中地区（天橋海岸～大垣海岸）：漂着ゴミ回収>

| 実施日時 | 参加者 | 回収量 |
|--------------|-------|------|
| 令和6年6月5日（水） | 約100名 | 0.1t |
| 令和6年7月10日（水） | 約50名 | 3.4t |
| 令和6年10月9日（水） | 約30名 | 2.0t |

※上記以外に、4月・12月にも地域住民による取組を実施

<与謝野町東町区、浜町区（岩滝海岸）：漂着物収集処分>

| 実施時期 |
|--------------|
| 5月、8月、9月、11月 |

<野田川清掃>後野区

| 実施日時 |
|------------|
| 令和6年10月13日 |

<アオサ回収>与謝野町男山区

※アオサが未発生であったため実施せず

<クリーンはしだて1人1坪大作戦>

| 実施日時 | 回収量 |
|--------------|-------|
| 令和6年4月16日（日） | 15.0t |

<迎春天橋立一斉清掃>

| 実施日時 | 回収量 |
|---------------|-------|
| 令和6年12月10日（日） | 12.0t |

●NPO国際ボランティア学生協会（IVUSA）と連携した阿蘇海清掃

大学生ボランティアを受け入れ、より大規模な清掃活動を実施。また、活動を通じて地元住民との交流を深め、新たな取組の場づくり・環づくりを推進



<カキ殻回収事業>

| 実施内容 | 実施日時 | 参加者 | 回収量 |
|---------|----------------------|-------------------|-----|
| 夏プロ | 台風接近のため中止 | — | — |
| 春プロ(予定) | 令和7年2月28日(金)~3月3日(月) | 大学生:63名 地元:64名 | 11t |

<その他：学生と地元との連携・交流> ※IVUSA主催事業

| 実施内容 | 実施日時 | 参加者 |
|----------------|----------|-----|
| 阿蘇海生物調査(予定) | 令和7年3月1日 | 63名 |
| 子ども向け環境学習会(予定) | 令和7年3月2日 | 25名 |

●原木漁礁の沈設（漁協溝尻地区運営協議会）

年2回の阿蘇海清掃に加え、原木漁礁の沈設を実施。

●ちょこっとボランティア（市町等）

阿蘇海とその流域の水質浄化や、ポイ捨てしない環境づくりを行い、阿蘇海周辺、野田川をはじめとする阿蘇海流域河川の美しくするため、ポイ捨てごみを、家族や友だち、各種団体などで気軽に拾ってもらおうという「ちょこっとボランティア（愛称：ちょこボラ）」事業を実施。

いつでも誰でも気軽に「ちょこっとボランティア」できるようステーションを阿蘇海周辺7カ所に設置。専用ゴミ袋の配布、回収ゴミの一時預かりを開始。回収ゴミの処理は町が行う。

《設置場所》

阿蘇シーサイドパーク（岩滝）、クアハウス岩滝、与謝野町役場（本庁舎、野田川庁舎、加悦庁舎）また、「ちょこボラDAY」と題して、よさの百年の暮らし委員会（愛称：みらいふ）主催による清掃ボランティア活動を実施。

●ボランティア散乱ごみ収集袋交付事業（市）

地域内の散乱ごみ等をボランティアで清掃する自治会等に専用のごみ袋を交付し、収集されたごみの運搬・処理を実施した。

●不法投棄パトロールの実施（市・町）

不法投棄の防止・回収等を行うため、複数回にわたるパトロールを実施した

4 阿蘇海流域の「宝」の活用

●カキ殻資源活用の推進（農業者等）

阿蘇海に堆積するカキ殻を回収したのち、土壌改良材として、果樹園・桑畑等の農地で活用。

●潜水調査によるアマモ場の維持管理（府立海洋高校）

海洋高校海洋技術コースにおいて、潜水技術を活かした、アマモ場の調査・種子採集・播種等を実施。宮津湾への流入口付近に分布するアマモ場の様子を継続的に観察・記録（平成23年度から継続して実施）。

●高校部活動における野田川流域の生物調査（宮津天橋高校フィールド探究部）

阿蘇海、野田川付近で生息する生き物や不法投棄ゴミの現状、その流域を含む周辺環境を保全する取組について阿蘇海フェスタで地元住民に向けて発表。

●野田川のサケを見守る活動の推進（町）

野田川にサケが還ってくる10月下旬から12月上旬の前に、後野区や後野農地水組織が中心となって、野田川清掃を実施。毎年度、野田川上流にサケの姿が見られている。

| 実施内容 | 実施日時 | 参加者 |
|--------------------|------------|-----|
| 野田川清掃活動（後野区×IVUSA） | 令和6年10月13日 | 60人 |

●阿蘇海についての環境啓発活動（市町） ※再掲

| 実施内容 | 実施日時 |
|---------------------------|--------|
| 環境改善啓発ポスターパネル製作（吉津小・府中小） | 7月～8月 |
| 阿蘇海環境改善啓発ポスターコンクール（与謝野町内） | 7月～11月 |

●野田川及び阿蘇海についての環境啓発活動（町） ※再掲

| 実施内容 | 実施日時 |
|----------------------------|-----------|
| 阿蘇海の現状と環境を守る取り組みについて（岩滝小） | 令和6年6月12日 |
| 阿蘇海の現状と環境を守る取り組みについて（加悦小） | 令和6年6月18日 |
| 阿蘇海に飛来する鳥や生物について（エコキッズ） | 令和6年6月29日 |
| 環境を守る取り組みについて（石川小） | 令和6年7月8日 |
| 環境を守る取組と 米作りについて知ろう！（三河内小） | 令和6年9月3日 |
| 阿蘇海環境学習会（橋立中） | 令和6年9月18日 |

●大学生による環境啓発活動及び生物調査（IVUSA） ※再掲

| 実施内容 | 実施日時 | 参加者 |
|----------------|----------|-----|
| 阿蘇海生物調査（予定） | 令和7年3月1日 | 63名 |
| 子ども向け環境学習会（予定） | 令和7年3月2日 | 25名 |

5 専門的対策

●阿蘇海水質等調査（京都府委託事業）

| 実施内容 | 委託先 |
|----------------------------------|-------------------------|
| 阿蘇海における水環境特性の中長期的動向と降雨・潮汐の影響について | (学) 立命館 立命館大学総合科学技術研究機構 |

【R6 調査から得られた知見（概略）】

- ・阿蘇海の淡水部分の交換日数を分析したところ、約3.9日～22.8日（平均13.1日）と比較的短期での交換であることが分かり、降雨等により河川流入量が増えると、懸濁性汚濁負荷物質（以下SS）の流入が増え、河川寄りの阿蘇海では特にSS濃度が上昇することが判明
- ・水位・水温・水質の常時観測を実施したところ、阿蘇海の水位は外海（宮津湾）の潮汐と連動していることが示された。阿蘇海の表層水温は潮汐の影響を受けて変化しているが、底層水温には影響がないことが考えられる。
- ・底層の溶存酸素（DO）が3～7月にかけて断続的に最大5mg/Lまで回復するケースも確認された。

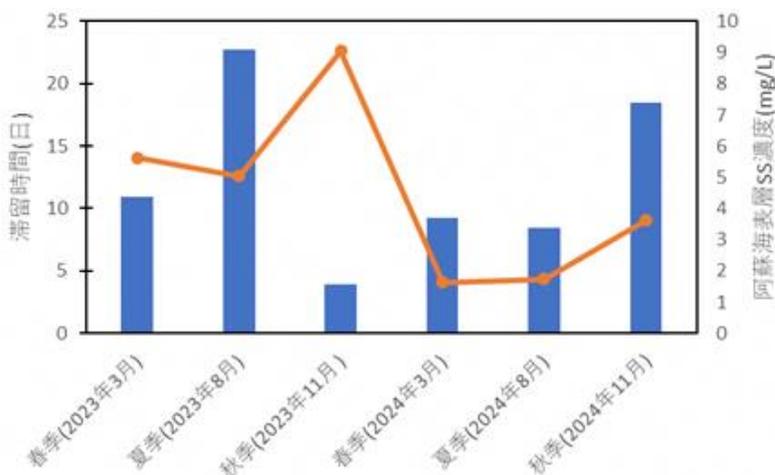


図1 阿蘇海の表層水質と滞留日数の関係

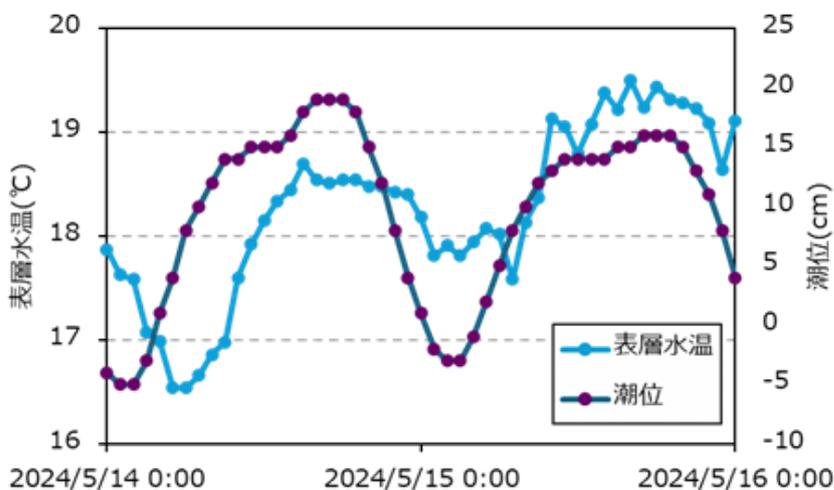


図2 阿蘇海の水温と外海潮位の関係